

平成 28 年 9 月 23 日

「名寄市総合計画(第2次)基本構想・基本計画(素案)」に対するパブリック・コメント手続の実施結果について

「名寄市総合計画(第2次)基本構想・基本計画(素案)」に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。寄せられたご意見について検討した結果、素案の修正を一部実施し策定することとしました。

1. パブリック・コメント手続の実施結果

案件名	名寄市総合計画(第2次)基本構想・基本計画(素案)
意見等の募集期間	平成 28 年 8 月 16 日(火)～9 月 14 日(水)
案の公表方法	1 実施機関が指定する場所での閲覧又は配布 2 市ホームページへの掲載 3 その他(広報9月号、報道機関への情報提供、FMなよろでの周知)
意見等の提出方法	「意見提出用紙」により実施機関窓口持参、郵送、ファックス、電子メール
結果の公表方法	指定閲覧場所、市ホームページ、市広報
意見等の提出者数・提出件数	提出者 3人 提出件数 64件 【内訳】 書面提出:0件、郵便:0件、FAX:0件、電子メール:3件 その他:0件
意見等の処理	以下のとおり

2. 意見の概要と市の考え方について

市民等の意見の概要	件数	意見に対する名寄市の考え方
インクルーシブ教育システムの構築に努めてほしい。併せて支援員の配置・増員について、基本構想・基本計画に明記してほしい。	1	第2次総合計画では、新たにインクルーシブ教育システムの構築に努め、障害のある者と障害のない者が可能な限り共に学べる仕組みづくりを進めます。インクルーシブ教育を進めるにあたって、特別な支援を必要とする児童・生徒への指導を充実するため、特別支援教育学習支援員の配置やティーチング・アシスタント事業による学生支援員の派遣など、より一層きめの細かい指導体制を整えることとしております。支援員の配置・増員については、あくまでもインクルーシブ教育の構築のための一つの手法であり、個別の実施事業として考えておりますので、基本構想・基本計画への掲載はいたしません。
実施計画が発表されるスケジュールを教えてほしい	1	現在実施計画についても検討しており、年内には策定・公表できる見通しです。
実施計画にはあいまいな表現ではなく、明確な事業名で整理して発表し、さらにそれぞれの 28 年度予算を明記してほしい。最低限、重点プロジェクトに関連する事業については予	1	実施計画の中で主な計画事業や重点プロジェクトに関連する事業予算など可能な限り公表いたします。 なお、実施計画は H29 年度からの個別事業をまとめたものであることから、H28 年度予算は対象期間外となります。

<p>算を出し、重点プロジェクトにかかる予算を明記してほしい。(ニセコ町「予算説明資料」を参照のこと http://www.town.niseko.lg.jp/machitsukuri/joho/post_38.html)</p>		
<p>実施計画の中で、新規で始まる事業に関して明記したうえでパブリックコメントを募集してほしい</p>	1	<p>実施計画は個別事業をまとめたものであることから、パブリックコメント対象外となります。</p>
<p>実施計画には担当部署(複数に及んで OK)、メインで責任をもって実行する部署を明記してほしい</p>	1	<p>実施計画に担当部署を明記いたします。</p>
<p>本総合計画内にある数値(特に重点プロジェクト)や、今後発表される実施計画の目標数値(重点プロジェクトの場合には基準値も含む)は、明確な説明とその数値が出された根拠を示してほしい</p>	1	<p>重点プロジェクトの目標数値については、</p> <p>① 経済元気化プロジェクトについては、観光入込数について平成 24 年に策定した名寄市観光振興計画において平成 33 年までの 10 年間で 50%増を目標に掲げていることから年 5%、基準値の平成 27 年度から重点プロジェクト終了期間である平成 30 年度までの 3 年間で 15%増を根拠として目標値数値を設定しています。</p> <p>② 安心子育てプロジェクトについては、平成27年3月に策定した名寄市子ども・子育て支援事業計画策定時において実施したアンケートを基に基準値を設定し、満足度を向上する目標値としています。また、小学校整備、放課後児童クラブの設置に伴い満足度が向上するものとして設定しています。</p> <p>③ 冬季スポーツ拠点化プロジェクトについては、今後開催される大会及び合宿誘致の可能性のある競技団体等から数値を想定するとともに、環境整備による効果を想定した数値を目標値としました。</p>
<p>掲載されている目標数値は、その数値を達成することによって、どんな社会的インパクトがあるのかを考えてほしい</p>	1	<p>① 経済元気化プロジェクト 新たな産業の創出や地域経済の好循環を図り、まちに元気を生み出します。</p> <p>② 安心子育てプロジェクト 満足度の高まりを指標とすることにより、安心して子どもを産み育てることができる環境の指標となると考えます。</p> <p>③ 冬季スポーツ拠点化プロジェクト 地域の競技力向上、施設の有効活用、経済効果、知名度の向上、地域一体となった取組による地域力の向上等、さらには市民の健康意識を高めることができます。</p>
<p>重点プロジェクトは目標値を達成した場合に、どんな社会的インパクト(=名寄市内の経済的、社会的、環境的变化・成果)があると考えている</p>	1	<p>① 経済元気化プロジェクト 現状と比較を行ない実現可能な数値設定としており、潜在的な需要の発掘と各種支援制度へ繋げることを重視しています。</p> <p>② 安心子育てプロジェクト</p>

<p>のかを教えてください。また、できるかぎりその社会的インパクトを数値で示してほしい(例えば、重点プロジェクト(1)の場合、観光入込客数 550 千人の目標値を達成したときに、そもそもの本プロジェクトの目的である「地域経済の好循環」と照らし合わせて、名寄市内にどれくらいお金が落ちるのかという数値。6 次産業化品目数 2 品目の目標を達成したときに、どんな・どれくらいの経済効果が数値として出てくるのか)</p>		<p>少子化対策・人口減少対策として、子育てと仕事の両立や地域社会における子育て支援など、満足度が向上することによる変化がみられるものと考えます。また、出生率や多子世帯などの向上・維持を図ってまいります。</p> <p>③ 冬季スポーツ拠点化プロジェクト</p> <p>本市の特徴を生かした冬季スポーツ合宿の誘致は、企業・関係団体、行政が一体となった官民協働の受入れ組織を立ち上げることで、地域の人材育成と経済活性化の可能性を高める。さらには、名寄市立大学等との連携で高品質化された合宿プログラムの提供が可能となり、アスリートに選ばれる永続的な事業推進の可能性が広がる。また、地域の競技力、健康増進を図ることができます。</p>
<p>名寄市がベンチマーク(規模が近い、うまくいっているなどの理由で)している市町村があれば教えてください</p>	1	<p>状況に応じて他自治体との比較を行い、総体的にベンチマークしている市町村はありませんが、優良事例は適宜参考としています。</p>
<p>総合計画の素案の資料が難しく、読みにくい。市民でも興味をもって読める冊子を作してほしい</p>	1	<p>総合計画は市全体の施策を網羅しているため、膨大な量となっておりますが、わかりやすくまとめて、市民に興味を持ってもらえるダイジェスト版冊子を作成いたします。</p>
<p>総合計画・実施計画全体に「大学」というものを積極的に入れていってほしい。同規模の市町村の中で、名寄がほぼ唯一優れている場所は大学である。</p>	1	<p>総合計画は市政全般にわたる総合的な振興・発展を目的とした10年間の計画であり、大学振興に関わる施策も他の施策とバランスをとりながら記載していますが、昨年度策定した、人口減少の克服を主眼として特に取り組むべき施策を示した5年計画の総合戦略において、大学振興を5本の基本目標の一つに掲げ、積極的に推進することとしています。</p>
<p>10年の計画を立てても、職員は2-3年程度で異動してしまう。各部署や各重点プロジェクト、基本目標ごとの専門家(市役所職員、民間との協働の可能性も含めて)が必要。これは「引継ぎをきちんとする」という問題ではなく、長期的な視点でその変遷を見つめて対応できる人物が必要であるということ。せめて5年は見れる人が必要では。</p>	1	<p>市職員は人材育成と組織の活性化を目的に、定期的に人事異動を行うとともに、専門的知識などを必要とする職場においてはプロパー職員の配置を行っています。様々な事情から異動するまでの期間に職員差が生じていますが、今後も各種事業の進捗状況や業務の継続性などを考慮しながら適正な人事管理を行っていきます。</p>
<p>行政が行っていることを市民が知らなすぎる。市民側のアプローチも必要だが、行政からもより市民が聞きたくなる・参加しやすく</p>	1	<p>分かりやすい、見やすい広報紙の発行やインターネットなどを活用した迅速で正確な広報活動を行うとともに、市民意見を伺う場の提供に努めます。</p>

なる形での情報発信をしてほしい。		
創業・起業支援が足りない。制度だけでなく、相談窓口の絶対数の増加と質的向上が必要。	1	IV-3『商業経営基盤の強化』における実現の方策に記載しています。
この目標値で本当に経済が元気になるとは思えない。この目標が達成したときの、名寄市の経済指標はどれくらい向上するのか教えてほしい。	1	目標値については現状と比較を行ない実現可能な数値を設定しています。 経済指標については、プロジェクト以外の外的要因など様々な要因にも左右されることから具体的にお示しすることは困難ですが、プロジェクトを推進することで地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。
6次産業化の目標数値は品数ではなく、売上金額など、そこから波及する経済効果の数値にしたほうがいい。	1	農・商・工等の異業種連携による新たな産業育成を目指していることから、品目数を目標として設定しています。 売上金額等を目標数値にすることは困難ですが、異業種連携による新たな産業育成を通じて地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。
観光入込客数は客数ではなく、経済効果の数値にしたほうがいい。(客数を目標とすると、人は来たが金は落とさずゴミを落とす、という場合にも評価されてしまう。客数を増やすことではなく、単価を上げるという視点も設けるべき)	1	交流人口拡大による各種イベント関連の関係入込数増等を図り、地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。 観光振興がもたらす各方面への経済波及効果については観光振興計画の策定と合わせて調査研究してまいりたいと考えております。
創業・事業継承件数の基準値、目標値は単年度の数値か、それとも5年間の数値か。5年間の場合、あまりにも目標数値が低すぎるのではないか。	1	目標値に関しては平成30年度末までの数値にしています。
主な基本計画事業内に、グリーンツーリズム、スポーツ大会、各種イベントが入っているが、これは市内の経済循環を目的としているのか、それとも市外からの入込客数増加による経済効果を目的としているのか。	1	各種イベントについては、交流人口拡大による入込数増等を図り、地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。
子育て支援は進んでいる他地域があるので、ベンチマークをして、やっていることをリスト化し、名寄の状況をチェックしながら達	1	個別の施策において他地域との比較検討を行っている事業もありますが、達成度については、平成27年3月策定の名寄市子ども・子育て支援事業計画において、毎年度の進捗状況等の報告をしています。

成度を見たほうがいい。		
目標値が低すぎる。この目標値の論理的根拠がないと、こういった感覚論になってしまうので、論理的根拠を示せる指標と目標値を設定すべき。	1	<p>目標値は現在の満足度を基に算出しています。子育て全般に係る指標としての目標値であり、論理的根拠の指標として数値化はしておりませんが、上記記載のとおり毎年度の個別施策について進捗状況等において確認しています。</p> <p>また、他市のアンケート結果の満足度と比較しましても当市の満足度は低い状態ではなく、目標値においても低い設定とはなっていないと考えています。</p>
公園整備がなされていないので、予算をきちんととってほしい	1	各層様々のご意見を頂戴しながら、必要に応じ整備できるよう努めてまいります。
合宿受け入れ人数の基準値はキャパシティが理由とのことだったが、その状態で目標値が5000人というのは無理があるのでは。キャパシティを広げるための対策・ロードマップを明記してほしい。	1	市内の主な宿泊施設の収容人数は約600人で、合宿受け入れ数は延べ人数のカウントとなっているため、キャパシティに問題はなく、各種施策実施が相乗作用すれば達成可能な数字であると考えています。
このプロジェクトは「スポーツ」に寄っているが、予防医療と深いかわりがある。基本計画事業の中に、基本目標Ⅱのなかでリンクできる事業を入れてほしい。	1	生涯スポーツの推進において、障がいがある方も含めて、健康づくりに係る事業については、連携して取り組みます。
情報システム、とは何を指しているのか。	1	市役所内において各種行政サービスを提供するために運用している行政内部システム全般を指しています。
⑥について、現在の財政運営状況は健全ではないのか。	1	国が定めている地方公共団体の財政状態の健全性を表す指標として「財政健全化判断比率」がありますが、名寄市においては早期健全化基準(黄色信号)を下回り、健全な水準にあるといえますが、記載させていただいたとおり財政的に抱える課題もあります。今後も引き続き、健全な財政運営を目指してまいります。
クラウド化はどこの事業者に依頼するのか。その事業者の選定基準はどうなっているのか。	1	総合行政システムなどの一部システムについては既にクラウド化を行っておりますが、他のシステムについては行っておりません。また、選定基準についても今後、各情報システムをクラウド化する際に詳細を決めますが、機密性・完全性といった情報セキュリティに対して求められる要素や価格面などを総合的に勘案して判断することができる内容になると考えています。
④について、海外渡航経験があるということと、国際感覚を持つということは全く意味が違う。現在の推進方法では、「国際感覚を持つ人材」は育たない。小	1	<p>この項目における、市民団体が中心になって行う相互交流については、小～高校、大学との連携により実施しておりますが、より多くの青少年が外国人との直接的な交流を行うことができるよう、学校訪問等を通じた、異文化交流の機会の創出に努めます。</p> <p>なお、国際感覚の醸成においては、国際交流以外にも自国や</p>

～高校、大学との連携をどのようにやっていくのか。		郷土の歴史・文化の理解等もまた重要であると認識しており、必要な施策を推進してまいります。
④について、異文化交流は姉妹都市への往訪を一部やっているが、市民の中ではほとんど行われていないのでは。各姉妹都市推進協議会などでの活動の活性化サポートをしてほしい。	1	国際交流団体におきまして、会員の減少、高齢化が進んでおり、会員の増強が大きな課題となっています。現在、国際交流団体と会員の増強等、活動の活性化について協議を行っているところであり、今後ともサポートしてまいります。
④について、移住促進は現在の状況では進まない。下川町、東神楽町、東川町の活動をベンチマークしているか。移住促進の戦略を明確にし、より意識的に強化していくべき。	1	先進自治体の取り組みを参考に、体制整備も含め事業推進を展開いたします。
①について、市民に伝わっていない。自治基本条例も知られていない。わかりやすい冊子などの情報で周知が必要。	1	本年度中に解説文とわかりやすいパンフレットの作成を予定しています。
③について、名寄市のホームページがわかりにくい。ほしい情報にたどりつけない。情報を収集して発信する部分にきちんと予算を付けてほしい。	1	市民と連携・協力しながら市民主体のまちづくりを進めていくためには、行政情報の提供と情報の共有化が必要不可欠であると認識していますので、引き続き分かりやすく見やすいホームページの作成に努めていくとともに、予算の配分についても市全体の事業と調整を行いながら必要な措置を行ってまいります。
行政が市民協働のプロジェクトを立ち上げるのではなく、すでにある市民のプロジェクトに対して協働していくという視点が必要。市民側で動いている活動やイベントをリスト化して把握しているか。実施計画で意識してほしい。	1	市民の方々や地域との協働により実施している施策については各担当部署にて把握しているところ市民活動全般に関するリスト化は行っておりませんが、これからもまちづくりに関わる市民団体等の活動を注視するとともに、その自主性自立性を尊重しながら積極的に連携協力してまいります。
協働については、窓口が必要。さらに、行きにくい市役所が窓口になるのではなく、利用しやすい民間の相談窓口や中間地点が複数必要。実施計画で意識してほしい。	1	市民と行政との協働については、行政の各分野においてそれぞれが市民の方々をはじめ地域との連携協力により推進しているところです。また、民間レベルでの活動が活発になることにより市民相互の協働も推進されるものととらえています。
実際に行政側に協働を申し出ても受け入れられなかったり、敬遠されている経験をしている。この中に職員教育と指定管理者などの施設委託先への、「市	1	基本目標は主要施策全体に関わる考えを示しているため、具体的な課題を個別に記載することはできませんが、研修機会などを利用した市職員に対する意識啓発や、指定管理者との意識共有について施策を推進する中で意識してまいります。

民協働」に関する教育が必要。 ①の中に入れてほしい。		
10年後、開業医が高齢化で減っていく。今は充実しているからといって大々的に掲げているが、長期的な視点をもって施策を打っているか確認したい。大病院と開業医の連携(人材転換など)を積極的にしていかななくてはならない。そういった項目を入れてほしい	1	Ⅱ-2『地域医療の充実』における基本事業として、「1 地域医療機関相互の連携強化」及び「2 診療基盤と経営基盤の強化」を掲げ、それぞれの基本的な方向性と実現の方策に考え方を示しています。
予防医療の推進が必要。予防医療アドバイザー制度など。保健師や保健推進員が機能していない。食、健康、スポーツという横串	1	保健推進委員のみなさんには各種健(検)診・健康相談・健康教室の勧奨、健康増進に関する啓発など当市における地域保健活動の要としてご協力をいただいております。すべての市民が生涯にわたって安心して健やかに暮らせるためには、疾病予防と健康増進の取り組みや啓発が重要であり、名寄市健康増進計画「健康なよろ21(第2次)」に基づき各地区の保健推進委員や関係する部署及び関係機関と連携しながら健康づくりの推進に努めてまいります。
①について、食育などの病気になる教育が子ども、大人、高齢者それぞれに必要な。	1	食育は生きるうえでの基本であり、子ども、大人、高齢者すべてに必要なことから、平成25年3月に策定いたしました『なよろっ子食育プラン「第2次名寄市食育推進計画」』に基づき総合的な食育を推進していきます。
⑤について、買い物の便利な中心街に住めるように、なにか対策はあるのか。	1	中心街への居住につきましては、基本目標Ⅲの中でコンパクトなまちづくりを推進する中で関係団体と連携しながら、手法の検討してまいります。
発達障害児について、幼稚園、小、中、高の連携が必要。	1	発達障がい児については、切れ目のない一貫した支援体制が必要です。特別支援連携協議会や名寄市障害者自立支援協議会などの取り組みにより、学校や関係機関の連携が密になってきています。引き続き、取り組みを進めていきたいと考えています。
障がい者と健常者の区別は難しい。グレーゾーンがある。名寄市としてはどういう基準で分けているか。	1	障がい者と健常者を区別することは難しいですので、なだらかにつながっていると考えるのが適切だと思われます。現在、障がいに関わる相談については、基幹相談支援センター事業ぼっけで対応していますが、相談の対象を限定せずに、障がい者から障がい疑われる方までの幅広い方々への対応を行なっています。
空き家の水道(水回り)整備に対する補助が必要。それがないと空き家対策は進まない。空き家対策は、リフォームの補助以外にもサポートがないと活用に	1	名寄市の空家等対策は、市民団体代表者や有識者からなる空家等対策協議会を設置し、ご意見を頂き名寄市空家等対策計画を策定しました。今後はこの計画に沿って、空家等の利活用の促進に向けた空家バンクの開設や、適正管理を促す啓蒙啓発活動を進めていきます。

踏み切れない。市民へのヒアリングを実施してほしい		
洪水対策、災害対策、除雪対策が不十分だと感じている。	1	洪水対策、災害対策につきましては、主にハード対策とソフト対策に分かれます。ハード対策は早急に万全な対策とすることが難しいですが、可能な範囲で対策を行って参りたいと思います。また、ソフト対策につきましては、避難に関する事項の対策中心に進めておりますが、自然災害の激化の進行が速く、これからは、国を始めとする関係機関と連携し対策を進めていきます。除排雪対策については十分手法を研究しながら最善の方策がとれるよう努めてまいります。
防災について、ガイドブックの配布方法を検討してほしい。	1	防災マップ(水害)に関しては、国と連携した天塩川流域全体での取り組みが始まっており、配布方法を含めて検討してまいります。全戸配布が前提となるため、市の広報配布が効率的であると考えております。また、合わせて説明の機会では、出前トークなどあらゆる機会をとおして実施してまいります。
防災マップが市民目線でない。市民のチェック機能を設けて、わかりやすいものを設けてほしい。	1	本マップは、主に平成26年の災害対策基本法改正以降の基準を反映した防災マップとして作製しています。国土交通省北海道開発局が公表した浸水想定の結果を周知するもので、浸水想定の色分けや避難所の記載など国の基準に沿って作製するものです。浸水想定に関しては、できるだけコンパクトにするべきであるとか、わかりやすくというご意見があることも承知しております。しかしながら、「迅速確実な避難」に対し正しく認識できるよう、縮尺や、各個別事項について、国の基準等に沿って作製することが求められており、浸水状況等を簡素化することはリスクが高まります。今後におきましては、より分かりやすいものを作製してまいります。
公的交通の整備については、バスではなく機動力の高い、ワゴン車のようなものを活用してもいいのでは。	1	公共交通の利用状況や地域ニーズの変化に応じ、バス以外の多様な交通手段の活用を検討していきます。
観光、工業、商業の連携がこの計画では見えてこない。その方針はあるのか、ないのか。ある場合にはどんな風に。	1	各基本計画事業を進めていく中で民間団体等と連携しながら、効果につなげていけるよう努めます。
④の工業の振興があいまいすぎるのでより具体的に、何をするのかおしえてほしい。	1	既存事業所の支援はもちろん、食品製造業を中心に地場資源を活用した製品の製造販売支援を行っていきます。
⑥の観光は、何をメインに観光客を集めていくのか明確にしてほしい。現在は散漫となっていて結局何が売りの街なのかがよく	1	観光振興計画の見直しの議論の中で具体的な事業の検討をしていきます。

わからない。		
現在の空き店舗数を把握して、この計画が作られているか。	1	現在の空き店舗数を把握し、計画策定を進めています。
木材価格の下落などの課題認識はあるのか、また伐採した木材の活用方法を考えているか。	1	木材価格低迷等により施業意欲が減退していますが、集約化と効率化をさらに進め、資源環境と良質な木材生産に努めていきます。
ネット販売などへの補助を創っていないのか。	1	Ⅳ-3『商業経営基盤の強化』における実現の方策に記載しています。
過去に作ったひまわり油、みりんなどの経済効果はどうだったのか。市としての評価が知りたい。その反省やよかった点はどこに生かされて計画がつくられているのか。	1	商品の販売や原料となる農産物の需要拡大、ひまわり・もち米の地域ブランドの確立につながっていると考えます。今後も地域の特性を活かした、農業・商工業の連携による産業振興をめざしています。
子どもが親や教師以外の大人と接する場所が必要だが、その項目がなく、学校教育と地域が分断されている項目設計になっている。そこに対してどう思うか。	1	学校教育においては、地域の人的・物的資源を活用したり、社会教育との連携を図るなどして、子どもが親や教師以外の大人と接する機会を充実させたいと考えています。※V-8青少年健全育成の項目で記載
大学教員の質をどのように判断しているか。地域連携についての教員への教育をやってほしい。	1	教員の質の確保については、学内にFD・IR委員会を設置して教員の教育及び研究力量の向上に努めています。また、地域連携・地域貢献については、今年度設置したコミュニティケア教育研究センターを中心に、保健・医療・福祉・教育・保育等の分野を中心に、教育研究活動を通して取り組んでいます。現在、「名寄市立大学の将来構想」の策定作業を進めておりますので、同構想の中で、教員の質保証、地域貢献などについて、検討していきます。
③の高等教育の部分、詳細が「魅力化」ではなく就職の話だけになっている。就職だけではなく教育方針・方法などの魅力化もあるはず。より広く、深く計画を考えてほしい。実際に学力レベルが下がっているがそこへの具体的な対策は。	1	本市においては、道立高校が2校ありますが、少子化の影響などで定員の68%程度の収容率となり、間口維持が厳しい状況になっています。このため普通学科・職業学科それぞれの魅力ある学校づくりに向けて、「名寄市内高等学校在り方検討会議」において、様々な分野から委嘱された委員によって議論がなされてきました。地域として必要とされる人材の育成や入学者に魅力ある学科への再編など、次期計画期間中に検討を進めていきます。
名寄高校と産業高校の合併や魅力化について、最新の教育事情が分かっている専門家をきちんと取り入れて意見を聞いてほしい	1	

地域の子ども会育成者への教育が必要	1	毎年、育成者の研修会・交流会を開催しており、今後も継続して実施いたします。
子どもたちの冬季運動不足の解消方法を考えてほしい(冬季に使えるプールがほしい)。冬季野外で遊べるスポーツの推進	1	幼少期からスポーツの魅力に触れ、楽しむマインドを育てることが重要であり、冬季スポーツの推進により子どもたちの運動不足、さらにはスポーツ離れを解消したいと考えています。
大学と市民の交流、学習、研究を推進する計画を入れてほしい。	1	「名寄市立大学の将来構想」の中で検討します。
アカゲラロードレースは参加者が少なすぎ。総合計画の方針・目標にのっとったイベント設計とそのイベントの目標設定が必要で、それが無い(達成できない)イベントはやめると判断をすべき。一部の市民のためではなく、大局で考える力を行政職員が身に着けるべき。	1	本市が主催するスポーツイベント等、各種イベントについては、計画的な開催が必要であり、今後も関係団体等のご意見を伺いながら総合的に判断してまいります。 なお、アカゲラロードレースについては、競技団体が主催しているイベントなので、ご意見として承ります。
「基本計画V-2 2 信頼される学校づくりの推進」の基本計画事業について基本計画事業として、4つの項目が立てられているが、3の「学校評価・学校職員評価」と4の「学校間の連携・接続の充実」は、いずれも1の「開かれた学校づくりの推進」に含まれるものであると考える。したがって、3、4の項目は削除し、1、2の項目に統一するということがよいと思います。その際、「開かれた学校づくりの推進」は「地域とともにある学校づくり」と表現した方がよい。	1	ご意見の主旨をふまえて、修正を行いました。
【基本的な方向性】と【実現の方策】の関係について Vの少なくとも、「小中学校教育の充実」においては、【基本的な方向性】と【実現の方策】の関係が明確でないような気がします。通常は、【基本的な方向性】で方向性が示され、【実現の方策】で文字通り実現のための具体的方策が示されるべきものと考えますが、記述していることを読む	1	ご意見の主旨をふまえて、修正を行いました。

<p>と、そのような整理がさされていないように思います。例えば、「生きる力」を育てる教育の推進では、【基本的な方向性】の中で学習指導においてアクティブラーニングの視点に立った授業改善や問題解決的な学習といった具体的な方策が示されてしまっているのに対し、【実現の方策】の中では、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育成するといった大きな目的が謳われており、ちぐはぐな記述になっているように思います。このようなことを避けるためには、【基本的な方向性】と【実現の方策】の記述する内容の違いを明確にしたり、【基本的な方向性】と【実現の方策】を一つに統一するなどの対応が必要ではないか。</p>		
<p>3 文言の整理の必要性について 文言の整理、修正が必要な気がします。例えば、127ページで「特別の道徳教育」と記載されていますが、「特別の教科道徳」というのが正しいと思います。その部分の記述でも、<u>多様な方法を取り入れた「特別の道徳教育」の指導方法などの工夫</u>とあり、方法と指導法がだぶって記述されています。また、そのページの下から2行目に<u>コミュニケーションの素地を養う国際理解教育</u>とありますが、コミュニケーション能力の素地や基礎を養う国際理解教育が正しいように思います。素地だけでは小学校段階の目標になってしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>1</p>	<p>ご意見の主旨をふまえて、修正を行いました。</p>

《参考》

3. 住民説明会での主な意見

実施計画が発表されるスケジュールを教えてください	1	現在実施計画についても検討しており、年内には策定・公表できる見通しです。
重点プロジェクトである安心子育てプロジェクトの目標数値が出された根拠を示してほしい	1	安心子育てプロジェクトについては、平成27年3月に策定した名寄市子ども・子育て支援事業計画策定時において実施したアンケートを基に基準値を設定し、5年間で5%向上する目標値としています。
重点プロジェクトである冬季スポーツ拠点化プロジェクトの目標数値が出された根拠を示してほしい	1	冬季スポーツ拠点化プロジェクトについては、今後開催される大会及び合宿誘致の可能性のある競技団体等から数値を想定するとともに、環境整備による効果を想定した数値を目標値としました。
基本目標Ⅳ－3土づくり対策について具体的な施策は	1	土づくり対策においては、緑肥などの地力増進対策や連作障害を回避する輪作対策、土壌分析などの総合的な取組を推進してまいります。
公園整備がなされていないので、予算をきちんととってほしい	1	各層様々なお意見を頂戴しながら、必要に応じ整備できるよう努めてまいります。
【基本的な方向性】と【実現の方策】の記述する内容の違いを明確にすべき。	1	ご意見の主旨をふまえて、修正を行いました。

[問合せ先]

担当課 総務部企画課企画調整係

電話 3-2111(内線3306)